



新 牛久ごみ ニュース

生ごみを出さない工夫してみませんか？

地元の野菜は環境にもやさしい！

私たちが生活する上で欠かせないのが、「衣・食・住」。中でも食は、家族の健康を守る大切な手段ですから、主婦にとっては毎日気を使うところですよ。今年は天候が不安定な日が多く、スーパーでは野菜不足により値段が高騰する時期があったためか、農産物直売所はどこも大盛況のようです。

また、農産物直売所の魅力はそれだけではないようです。生産者の顔が見えて安心、しかも地元の野菜でまさに地産地消、運搬には燃料節約でCO₂の発生を抑制、環境にもやさしいのがうれしいですね。すべて使い切って、残さず食べきるようにしたいものです。

買い過ぎ・作り過ぎは禁物！

買い物に行くと、タイムサービスや本日のお薦め品など、予定

外の物を買ってしまったことはありませんか？ 予定外の買い物をする事で、食べ切れないほどのお総菜を作ることになり、食べ残しの要因につながります。当然残ったものは「ごみ」になるわけですから、ごみを処理するための燃料費や運搬コストなど目には見えないところで無駄な消費をしていることとなります。



生ごみ処理機の補助金制度を利用してみませんか？

買い過ぎ、作り過ぎを抑えても台所からは生ごみがどうしても出てしまいます。生ごみを自分で土に戻し、再利用にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

市では、平成2年度から家庭用生ごみ処理機(容器含む)を購入した方に補助金を交付しています。



補助金は、容器式が購入価格(税抜き)の4分の3、限度額1万円で2基まで購入が可能です。機械式は購入価格(税抜き)の2分の1、限度額は2万円となります。補助制度の詳細については、市廃棄物対策課までお問い合わせください。

生ごみ処理機はさまざまなタイプがありますので、ご家庭にあったタイプを選ぶことが長続きのポイントです。わが家では庭が狭いため、乾燥式の処理機を利用しています。乾燥させてから土と混ぜて2・3カ月置き、家庭菜園やプランターのお花に利用しています。

市内では、生ごみ処理機設置世帯が毎年およそ130世帯増加し、この5年間で658世帯に設置されました。その内訳は容器式390世帯、機械式268世帯で

あり、これにより昨年は約150トンの生ごみがリサイクルされたものと見込まれます。市では、さらに生ごみ処理機の普及に努めていきます。

また、今年6月には、生ごみ処理機を利用している248世帯を対象にアンケートを実施したところ、回答率は69%(173世帯)で、実際に生ごみの量を1週間にわたって計量し、貴重なデータを40%(99世帯)からいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケート結果については、次回のごみニュースでお知らせします。

分別のお願い

ごみの量は、皆さんの意識で変わります。現状を見ると燃えないごみの袋には、リサイクルできる空き缶がまだまだ入っています。また、燃えるごみの袋には、リサイクルできる紙類や衣類が多く混入しています。家庭で分別することにより、よみがえる物がたくさんあります。ぜひ分別にご協力ください。こうした小さな積み重ねを広げて、環境にやさしい、皆さんの牛久市にしたいものです。